

熊毛教育事務所だより 熊毛の碧

(くまげのみどり) 令和7年2月発行

【ブラッシュアップ熊毛】
熊毛のポテンシャルを生かした心を
動かす教育の推進
～熊毛の子は熊毛で育てる～



「あなたの考えるポテンシャルとは何だろう」

熊毛教育事務所 指導課長 尻無濱 正和

学習指導要領に示されたカリキュラム・マネジメントの三つの側面として、「教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる」、「学校教育の効果を常に検証して改善する」、「地域と連携し、よりよい学校教育を目指す」※1)が示されている。三点目にあるように、カリキュラム・マネジメントの充実には、地域と連携しどこの地区や校区にも存在する潜在的な教育資源を積極的に活用することが欠かせない。

この趣旨を踏まえ、本地区は教育方針に、「熊毛のポテンシャルを生かした心を動かす教育の推進」を掲げている。この「ポテンシャル」という言葉は、辞書によると、「潜在的な能力や可能性としての力」※2)として捉えられる。それでは、「熊毛のポテンシャル」とはどのようなことを明示しているのだろうか。

まず、「熊毛のポテンシャル」として思いつくのは、例えば、「鉄砲」、「遺跡」、「ロケット」、「屋久杉」などの地域素材であろう。また、この地域素材に留まらず、それらを生かした、各市町における特色ある教育活動や教育制度等も「熊毛のポテンシャル」と言って差し支えないのではない。例えば、「種子島しおさい留学」、「うみがめ留学」、「南種子町宇宙留学」、「山海留学」など県内でも有数と言える本地区

の山村留学制度は、まさに、「熊毛のポテンシャル」と言ってよい。他にも、小連携や中高学力アップ推進会議など脈々と続く取組も、大いなる「熊毛のポテンシャル」である。

では、その「熊毛のポテンシャル」を「生かす」とは、どのようなことを意味するのだろうか。端的には、各学校で自校の地域素材等について発掘し、活用していくことなのであろう。このことは、先述のカリキュラム・マネジメントの三つの側面にもつながる。また、既に各市町の施策や自校の教育課程で生かしている教育資源を自校の特色として更に深め、広げていくことも、ポテンシャルを生かすということになる。

しかし、「熊毛のポテンシャル」の一番は何と言っても、熊毛地区の学校に在籍する児童生徒と教職員の資質・能力である。それを高めていくことが、「熊毛のポテンシャルを生かす」ということにつながるのではない。そのために、「学習者主体の授業」をはじめとする授業改善を展開し、各学校の校内研修や教材研究の充実を図ることが求められる。

なお、熊毛の教育方針は、「熊毛のポテンシャルを生かす」の後に、「心を動かす教育の推進」と続く。方針に照らして児童生徒や学校職員の心を動かす教育が行われたか、この機会に振り返りたい。

写真) 「冠雪した宮之浦岳」

※1) 「小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説総則編 文部科学省 東洋館出版社」から抜粋

※2) 「広辞苑 第七版 逆引き検索対応 岩波書店 ©岩波書店2018」から抜粋

県の基本目標

夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～

地区の
基本方針

熊毛のポテンシャルを生かした心を動かす教育の推進
～熊毛の子は熊毛で育てる～



研究の軌跡 熊毛地区内の研究公開の紹介

令和6年度に熊毛地区で行われた研究公開とその成果を紹介します。

研究公開は、当日の学び合いはもちろんですが、その日を迎えるまでの研究内容との向き合い方や組織の在り方など、多くの学びの相乗効果があります。開催校は、研究公開の開催に当たって、多くの困難もあったと思いますが、熊毛地区の教職員等に学びの場を提供していただき、ありがとうございました。

興味があっても参加がかなわなかった方、来年度以降に研究を進めたいと思っている内容と重なる方などは、ぜひ、公開した学校と連携を図ってください。

ここから更に学び合って、ますます学びを深めましょう！

西之表市立安納小学校

地区研究指定校（国語科） 研究年度：令和5・6年度

【研究主題及び副主題】

自ら課題を解決するために、自分から、自分らしく、自分のことばで伝えられる子供の育成を目指して ～国語科「読むこと」の指導を中心に～

【研究の成果】

考えが可視化できるツールを活用したり、KSTタイム（共有するためのスキルトレーニングタイム）を設定したりすることで意見交換をする機会が増え、子供は目的意識をもち自分のことばで伝えられるようになってきている。

また、「単元構想表」を活用することで、身に付けさせたい資質・能力（指導事項）と教材の特性が生きる言語活動を明確にし、全職員が同じ視点で研修を進めることができた。



【自分のことばで学習のまとめをする子供の様子】

中種子町立納官小学校

地区研究指定校（道徳科） 研究年度：令和5・6年度

【研究主題及び副主題】

豊かな自己の生き方を追求する子供の育成

～主体的に考え、議論する道徳の授業実践を通して～

【研究の成果】

授業の流れを精選することで、ねらいとする内容項目により迫った授業づくりができ、児童理解も深めることができた。

また、役割演技やアンケートの活用などを取り入れることによって、児童一人一人が自分事として考えようとする姿が多く見られるようになった。



【役割演技を通して、課題を自分事として考える児童の様子】

中種子町立南界小学校

県研究指定校「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業 研究年度：令和5・6年度

【研究主題】

「運動大好き」豊かなかかわりを育てる体育学習の創造

【研究の成果】

新体力テストの結果に向上が見られ、多くの学年で昨年度より全国平均を上回る種目が増えた。

また、タブレットを活用して異学年で積極的に話し合う様子や自分の課題を決めて運動に進んで取り組む姿が見られるようになってきた。



【異学年でかかわりながら学ぶグループ活動】

南種子町立西野小学校

南種子町指定校（教育方法） 研究年度：令和5・6年度

【研究主題及び副主題】

自ら学び続ける子供の育成をめざした個別最適な学びの実現
～单元内自由進度学習の手法を用いて～

【研究の成果】

子供が自分自身に合った学習方法を選択したり、自らの苦手な内容にも粘り強く取り組んだりする姿が見られるようになった。

また、教職員においては、单元を見通した教材研究や子供一人一人の違いを前提とした授業設計に努めるようになった。



【西野小学校ホームページ】
※ 研究誌を御覧いただけます。

屋久島町立栗生小学校

屋久島町研究指定校（ICT活用〔授業改善〕） 研究年度：令和5・6年度

【研究主題及び副主題】

自ら考え、協働する児童の育成
～複式学習におけるICTを活用した授業づくり～

【研究の成果】

ICTを活用し既習事項の確認や学習課題の設定を行うことで、見通しをもって考える時間が増え、自分の意見を進んで表現するようになった。

また、発達の段階に応じ、協働する際のポイントを設定することで、自分たちで話し合いを進め、答えを導き出そうとする姿が見られるようになってきた。



【互いの意見を吟味している様子】

中種子町立中種子中学校

中種子町研究指定校（人権同和教育） 研究年度：令和5・6年度

【研究主題】

自他を大切にするための学びを深め、日々の生活に生かすことのできる生徒の育成

【研究の成果】

様々な人権学習を通して、身の回りの様々な「当たり前」に疑問をもつことができた。

また、そのことから、校則や制服などについても生徒が主体となり、意見を交わしながら改正を進めることができている。



【生徒会入会式：いじめゼロ宣言】

屋久島町立岳南中学校PTA

県PTA活動研究委嘱団体 県PTA活動研究委嘱公開熊毛大会 研究年度：令和5・6年度

【研究主題及び副主題】

屋久島の自然と地域力を活かしたPTA活動
～未来へ繋（つな）ぐ岳南soul～

【研究の成果】

本校PTA活動の伝統的な取組の継続が、地域で子供を育てる文化と調和しながら、子供たちの成長に重要な役割を果たしている。

また、生活様式の変化や多様な価値観に対応した柔軟な見直しと改善を行い、ウェルビーイングなPTA活動へとつなげている。



【3年PTA主催岳南サイクリング
（ふれあい屋久島自転車一周）】